

# 訪問看護ステーション 連絡協議会だより

## 第37号

発行年月 2019年2月  
 発行所 岡山県訪問看護ステーション  
 連絡協議会  
 〒700-0805 岡山市北区兵団4-39  
 岡山県看護研修センター3階  
 TEL086-238-6688・FAX086-238-6681  
<http://okayama.houmonkango.net/>  
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp  
 発行責任者 江田 純子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、当協議会の活動に對しましてご協力いただき、厚く御礼申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお願い申し上げます。

さて、地域包括ケアシステム

の推進には、医療と生活両面に関わる看護職の活躍が期待されるとともに、療養者やその家族が安心して在宅療養・介護を継続できるように在宅療養支援の質向上が求められています。当協議会では、人材確保・定着、質の標準化により安定した訪問看護事業が継続できるように、体験研修、ラダー別研修、多職種交流会、ネットワーク強化等様々な事業に取り組んでおります。今後とも、会員



### 新年ごあいさつ

一般社団法人  
 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会  
 会長 江田 純子

の皆様のアイデアとご協力・ご支援をいただきながら進めてまいります。

昨年7月の西日本豪雨災害から半年が過ぎましたが、被災された会員の方々がそれぞれ復興に向けて取り組まれておられますので、引き続き、ご要望に応じたご支援を続けてまいりたいと存じます。皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

#### 当協議会の次の方々表彰されました。 おめでとうございます。

- ・2018年度岡山県保健衛生功労者表彰  
 (知事表彰) 地域医療  
 柴田由美子さん(正会員)  
 濱田ゆりかさん(正会員)  
 新美保恵さん(賛助会員)
- ・2018年度岡山市公衆衛生功労者  
 (保健所長表彰) 公衆衛生  
 内田耕三郎さん(理事)

### 賛助会員からのメッセージ

健康貢献企業としての  
 取組み  
 東洋羽毛中四国販売株式会社  
 代表取締役 永岩謙一

昨年は異常気象による災害が続き、被害を受けられた皆様にはお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

寝具を通して皆様の健康に寄与する「健康貢献企業」を目指す弊社は、高品質な商品を提供するだけでなく、眠りに関する正しい知識を皆様にお伝えする啓蒙活動も行っております。啓蒙活動の一つとして、睡眠健康指導士の資格を有した「睡眠セミナー講師」を無料で派遣しています。勤務体制により不規則な生活になりやすい看護職の方は、睡眠に対する不安を持っている人も多く、医療現場の勉強会等で睡眠セミナーを実施することもあります。おかげさまで、昨年は全国で400回以上の睡眠セミナーを実施することができました。

一人でも多くの方が睡眠に対する悩みを解消し、質の良い睡眠をとることで、明日の活力の源となるよう、高品質なものづくりと啓蒙活動を通じて、皆様の健康づくりのお手伝いをしていきたいと考えております。

最後になりましたが、訪問看護ステーション連絡協議会のますますのご発展を祈念しております。

『訪問看護ステーション』と 山陽事務機株式会社  
 『働き方改革元年』 代表取締役会長 藤田和男

新年あけましておめでとうございます。

昨年7月の西日本豪雨により被害を受けられた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈りしております。本年は、変化の多い年となります。特に元号の変更や働き方改革の元年です。特に我々中小企業にとっては働き方改革の実施です。

最近、私の周りの人達や弊社においても介護・看護の問題で頭を悩ましておりました。社員に介護のための有給休暇を取りなさい。介護・看護休暇を取りなさい。と言ってもなかなか取ってくれませんでした。

この働き方改革の実施を機に地域密着の訪問看護ステーションとの連携で在宅看護が出来る環境が整って来ると思っています。

最近、企業において健康経営という言葉が聞かれます。弊社でも『全てに健康であれ』をモットーに社員も、家族も、お客様に対しても、健康を第一に考え行動しております。

もつ岡山県内の訪問看護ステーションの存在をアピールして頂き、我々企業も協力し在宅介護でより良い家族の絆が持てるよう活用させて頂きたいと思っております。

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会の益々の発展を祈念しております。

# ステーションからの リレーだより

## 水島虹の訪問看護ステーション

管理者 塚本由佳

私たちの事業所は、在宅で過ごしたい全ての人のおもいに寄り添うことを理念に掲げています。年末は、初めてお家でクリスマスを迎える事ができた1歳のA君を囲み、歌を歌ってお母さんと一緒にお祝いしました。20歳を迎えたH君は、自宅でピザを生地からこねて焼きあげ、誕生日パーティーを楽しみました。その時々のお行事をお家で楽しめるのは在宅生活の醍醐味です。もうすぐお花見の季節です。昨年の春は公園でのお花見会を開催しましたが、一方で他の人との関わりが苦手な利用者さんには思い出の場所でのお花見をお手伝いしました。今年はどんなお花見ができるでしょうか。利用者さん一人ひとりを大切に、看護師自身も楽しみながら、笑顔あふれる事業所を今後もめざしていきます。



## 訪問看護ステーションエール

管理者 平田晶奈

当ステーションは、平成31年1月1日に開設3周年を迎えました。

『人の可能性を信じ、応援する!』という理念のもと看護師15名、理学療法士6名、事務4名、互いに認め合い、高め合いながら、ご利用者様お一人お一人と向き合っています。

退院前からご利用者様・ご家族様と、ご自宅での生活を一緒に考え、各関係機関との連携を密に図ることで、小児から高齢者までの幅広い年齢層、医療依存度の高い方へも対応させて頂いております。

1月1日より居宅介護支援事業所「ケアメイトエール」を開設し、ホームページをリニューアルしました。

フットワークの軽さとチームワークの高さで、ご利用者様はもちろん、地域の皆様の心のよりどころとなっていきたいと思います。



## 岡山市公衆衛生功労者



## H30年度 岡山市公衆衛生功労者表彰 ありがとうございました!

訪問看護ステーション紙ふうせん 玉置君江

皆様のおかげで、この度、岡山市公衆衛生功労賞を頂く事が出来ました。32歳の時に看護協会の訪問看護に就職し4年後、1997年の訪問看護ステーション紙ふうせんの開設から今に至ります。訪問看護に携わり約25年になりました。継続は力なりの精神で今後も、在宅関係の仕事が続けていきたいと改めて思った次第です。継続できる支えは共に働いているスタッフ、利用者や家族、関わっている各関係者の力があってこそです。ありがとうございました。

## 中国四国ブロック(in徳島)に参加して 訪問看護ステーションくろかみ 管理者 小郷 寿美代

平成30年10月20日徳島県で行われた、中国四国ブロック大会に参加させていただきました。「看取りについて考えてみよう」という訪問看護普及フォーラムで、「家で最期まで暮らす」というご本人ご家族の思いを叶えるために奮闘された医療従事者、そしてその思いを叶えることのできたご家族の話の聴き、改めて「家っていいな。訪問看護はすごい。」と思いました。

交流会では本場の迫力ある阿波踊りが披露されるなどの心温まるもてなしを受け、他県の方々とも情報交換できたことで、明日からも頑張ろうと思いました。



## 精神科研修に参加して

富田訪問看護ステーション  
管理者 藤井京子

H29、30年と研修に参加し4名の看護師が終了しました。

1名の精神科の利用者さんを退院から支援させて頂いております。最初の登録するところからわからず、いろいろな方に相談し利用につながりました。

利用者さんは長く統合失調症の治療を行なっている方、退院後は高齢の両親との3人ぐらしがスタートしました。訪問は週3回入り、入浴介助、排便コントロールを主に行っています。その他のサービスは1日3回のヘルパー導入、病院のデイケア利用など多職種のサービスを利用しながら在宅生活を継続されています。

利用者、家族の苦痛を理解して、家族だけでは支えきれないところを皆といっしょに考え、一日でも長く在宅生活が継続できるよう支援していきたいと思い訪問しています。

## 新卒職員を採用して

訪問看護ステーションこだま  
管理者 新田栄子

新卒の訪問看護師を採用するにあたり、育成プログラムに沿って育てていけばそれ程難しいことではないと考えていました。

しかし、実際は臨床看護師なら一般的に行える看護技術や知識が身につけていない新卒看護師を指導するということの難しさを、改めて感じる事が多くありました。医療的処置はステーションで経験する機会が少なく併設病院での訓練も取り入れました。特に難しかったのはメンタルケアでした。訪問看護特有の悩みを同期と語れないことが、一番つらかったようです。それも全国新卒訪問看護の会の先輩達と話す機会を頂き、壁を乗り越えることができました。今では根拠を持って、自分で考え行動できる訪問看護師に成長しています。

## 新卒職員を採用して

訪問看護ステーション紙ふうせん  
管理者 玉置君江

全く社会人経験の無い彼女は紙ふうせんに就職をした。何もかも新鮮な彼女は何を聞いていいのかわかなくていけばいいのかわからない生まれだてのひよこ。

このひよこ、純粋で真面目。行動はスローだが、学習能力は高い。ある、川柳の好きな利用者の所に私と同行し、一句披露した「母鳥の 横からびよこり ひよこかな」利用者と家族は非常に喜び、大絶賛!! 利用者と家族の心をワシ掴みにしたのだ。学習能力と感性の部分は申し分ない。あとは・・・経験。みんな悩んで大きくなった。このひよこを活かすも殺すも私たちにかかっている。ひよこを取り巻く関係者の皆様どうぞ、よろしくお祈りします。

## 訪問看護サミット2018に参加して

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会  
事務局長 岡村忠彦

平成30年11月11日に東京都内で開催された訪問看護サミット2018(日本訪問看護財団主催)に参加しました。

700名を超える参加者を前に、特別講演では、まず秋山正子氏((株)ケアーズ代表取締役)が、「日々の看護実践から、新たな絆づくりへ」として、がん患者らのサポート施設「マギーズ東京」のオープンや地域との協働などを、次に喜多悦子氏(笹川記念保健協力財団会長)が、「世界のプライマリヘルスケアと日本の訪問看護」として、途上国の看護師の活躍ぶりや我が国の看護師への支援事業などを話されました。

シンポジウム「ともに支えあう地域づくりへのチャレンジ」では、榊原千秋氏(訪問看護STややのいえ管理者)、西村幸氏(日本訪問看護財団岡山相談支援センター管理者)、藤野泰平氏(みんなのかけつけ訪問看護ST名古屋所長)により取組の発表と意見交換が行われました。



写真提供 日本訪問看護財団

## 災害その後



### 訪問看護ステーションあんど 管理者 浅沼 節子

昨年7月の西日本豪雨で、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致しますとともに被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。先の災害では当ステーションも水没し、利用者50名の半数近くが被災し2名が亡くなりました。発災2日後に訪問を再開し、被災スタッフも徐々に職場復帰でき激動のなか看取りも行いました。地域の人口流出はありますが、避難先から戻って来られる方の訪問再開もあります。多くの皆様からのご支援とご協力、励ましのお蔭で訪問看護を継続する事ができており感謝の気持ちで一杯です。今は病院の一室を拠点に活動していますが2月1日には病院含め事業所が完全復旧します。一日も早く日常が取り戻せるよう地域と共に復興に向け頑張ります。

## NPOそーる

代表理事 片岡 奈津子

昨年は西日本豪雨災害により、大変ご心配をお掛け致しました。皆様より多大なご支援、ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。そーるでは、7月22日より毎週日曜日に開始した、地域活動を継続しております。現在も専門職のボランティアの方を募集しております。



- **お問合せ先** enrichカフェ 毎週日曜日 9:30~12:00  
いぐすぺ南三陸実行員 木村まで TEL: 090-2801-6662



## グッドライフ指定訪問看護ステーション

管理者 信定 みゆき

7月7日の豪雨により、当ステーションは床上90cmの浸水被害にあいました。その為、社用車やパソコンなど多くの物品が使用できなくなりました。想像もしていなかっただけに、現状を目の当たりにした時はかなり動揺してしまいましたが、スタッフ・会社が丸となり、訪問と同時進行での復興に努めました。現在ではあの時が嘘のように落ち着きを取り戻しています。

今までは災害対策といっても漠然としており、どこか現実味のない感じでした。しかし、今回の災害で、「重要書類や物品の保管場所は高いところにまとめる」「ご利用者や関係機関の連絡先等をPC以外にも登録しておく」など具体的な対策をたてることが出来ました。そしてスタッフ間での明確な役割分担や日頃からの災害に対する個々の意識の持ち方の大切さを実感し共有しました。

今回の浸水では、多くの方々にご心配やご支援をいただきましたこと、深く感謝致します。本当にありがとうございました。

## 「第3回赤磐市在宅医療・介護推進フェア」

ナーシングアイル 管理者 芦谷 真理子

平成30年11月25日、赤磐市で在宅医療・介護推進フェアが開催されました。地域の方々に在宅サービスについて知っていただくために2年前から年1回開催されています。今年のテーマは「認知症」。映画「ケアニン」上映会や在宅サービスの紹介・相談コーナーを設け、200名を超える多くの方にご来場いただきました。訪問看護ブースでは認知症クイズや個別相談、手作りパンフレットを作成し訪問看護の紹介などを行いました。赤磐市内には訪問看護ステーションが5事業所あります。3か月に1度連絡会を開催し、情報交換や日頃の悩み相談など気軽に話し合える場となっています。これからも地域の方がその人らしく安心して在宅生活が過ごせるよう、お互いに協力しあいながら頑張っていきたいと思っております。



### 編集後記

昨年は、予想もしてなかった、西日本豪雨災害があり、被災に遭われたステーションの方々には、復興に向けて取り組まれ、大変な日々を過ごされていると思います。また今年は、インフルエンザが猛威を振るっています。利用者様の健康管理は基より、皆様も体調に気をつけながら、今年一年お互い助け合い、頑張っていきましょう。 広報委員一同